

## 砂利一部陥没に関する申し入れ 会社は万全な 再発防止対策をしろ！

8月14日、米原—京都間上り線で、線路わきに敷かれた砂利が一部陥没し、穴が開いているのを運行前点検の係員が発見した。このため始発から上下線とも同区間で一時運転を見合わせ、上り8本が最大26分の遅れ、約300人に影響を及ぼしました。線路わきに敷かれた砂利が一部陥没し、穴が開くということは一步間違えれば重大事故につながる危険性のあることです。新幹線地本は安全上問題であると認識し、8月17日申し入れを行ないました。

### 「米原—京都間における線路一部陥没」に関する申し入れ

「2010年8月14日午前4時45分頃、滋賀県野洲市大畑の東海道新幹線・米原—京都間上り線で、線路わきに敷かれた砂利が一部陥没し、穴（長さ2メートル、幅1メートル、深さ1メートル）が開いているのを運行前点検中の係員が発見した。JR東海は、復旧作業のため、始発から上下線とも同区間で一時運転を見合わせ、午前6時半過ぎに運転を再開した。このため上り8本が最大26分遅れ、約3000人に影響した。同社は、降雨で地盤が緩み、陥没した可能性もあるとみて、詳しい原因を調べている。」ということが新聞報道で明らかにされた。

このことは安全上重大な問題であると認識している。よって以下について申し入れるので早急に協議の場を持ち誠意ある回答をすること。

#### 記

1. 今回の事象の発生状況について詳細に明らかにすること。
2. 今回の事象の原因および再発防止対策について詳細に明らかにすること。
3. 他の箇所についての点検は行ったのか、またその結果について明らかにすること。
4. 新幹線の線路において、今回のような事象はこれまでにあったのか、また、あったとすればその内容およびどのような対策をしてきたのか明らかにすること。
5. 始発から上下線とも同区間で一時運転を見合わせたということだが、運転を見合わせ中の該当列車の乗務員に対してどのように伝えたのか、また復旧後に全列車に対して一斉に伝えたのか明らかにすること。
6. 今回のような安全上重大な事故や事態が発生した場合は、すみやかに労働組合との協議の場を設け、説明及び協議を行うこと。

以上